

新大田市立病院の

建設に向けて

平成29年度の開院を目指し、新大田市立病院の建設準備が進められています。新病院では、より質の高い医療サービスの提供等が期待されています。



▶開院予定の新病院のイメージ図

大田市立病院は、平成11年に国から経営委譲を受けて開院して以来、大田市二次医療圏の中核病院として、また、政策医療を担う自治体病院としてその責務と役割を担い、皆様の命と健康を守るため、良質な医療サービスの提供に努めてきました。

国立病院時代に建設された施設の大半は築40年を経過し、老朽化による耐震性の不安や、度重なる増改築により、使い勝手の悪い建物になっていました。

そこで、患者さんの安全確保と質の高い医療サービスの提供、また、医療スタッフ働きやすい環境を整備



▲現在の大田市立病院

するため、新病院を建設することが決定しました。

建設に向けて

平成24年度、新病院の目指す方向等を示す「新大田市立病院建設基本構想」を策定し、25年度には、その構想を基に基本設計を行いました。

その中では、

- ・建設地は現地での建替え
- ・診療科目は現行の20診療科を基本とする

・医師の配置数は、地域で必要度の高い疾病への医療を提供するため、30名程度の確保を目指す

新たな地域医療の中核病院を目指して

大田市立病院は、今年2月に満15年を迎えました。大田市と大田二次医療圏の中核病院として、住民皆さんの暮らしを支えています。

近年は、医師不足で診療に不自由をかけていますが、4月には4人の医師の赴任があり、大田総合医育成センターにも後期研修医2名が着任、6名の医師増で26名体制となりました。徐々にではありますが病院機能は上がっています。2月には病院ロゴマークも決まり、職員のよりどころも出来ました。

平成29年度には新病院がオープンする予定です。大田の医療、健康、福祉の拠点、「地域に開かれ、地域と共にある」病院を具現化していきます。昨今の医療を取り巻く環境は決して、たやすいものではありませんが、地域医療を支える自覚と誇りをもって職員一同まい進します。郷土の病院を見守っててください。



大田市病院事業管理者
大田市立病院 院長 西尾祐二



・病床数は患者動向や人口推計から、現施設より55床減らした284床等としています。

新病院は新病院棟、エネルギー棟、付属棟、院内保育所の4つの建物で構成しています。新病院棟は地上5階建てで、1階には主に外来機能(救急、検査、薬剤、放射線等を含む)を配し、2階は管理部門や手術室、透析、健診等、3階から5階は病棟としています。平成27年度から病院本体の建設工事に着手し、29年度中の開院を目指しています。

そして、新病院開院後に既存施設を解体(一部の施設は除く)し、駐車場等を整備する予定です。

ロゴマーク決定

大田市立病院では、開院15周年を記念し、平成26年2月にロゴマークを作成しました。

ロゴマークは全国から募り、昨年10月から12月にかけて、643点の応募がありました。

市立病院の全職員の投票や選考委員会による審査を経て、大阪府在住のマカロン(ペンネーム)さんの作品(左図)を市立病院のロゴマークとして決定しました。

市立病院では、職員が名刺に付いたり、イベントで使用する法被の背中に大きくデザインし、PRしていく

▲大田市立病院の頭文字「大」をモチーフに、人が躍動するイメージでデザインされています

ます。

このロゴマークを旗印に新しい病院づくりに向け職員が一丸となっています。



病院祭の開催

地域と共に歩む市立病院は、積極的に情報発信を行う等地域に開かれた病院づくりを進めています。

現在は、病院広報誌「銀の風」やホームページからの情報発信のほか、地域に出かける取り組みとして、



▲出前講座の様子

病院職員が病気や健康について説明する「出前講座」や院長自ら病院運営について講演する「お出かけ院長室」を実施しています。

「広げよう地域の輪」15年分のありがとう

地域の皆さんに病院をもっと知ってもらうため、また、触れ合う機会を創るための新たな取り組みとして、「広げよう地域の輪」15年分のありがとうをテーマに、11月16日に病院祭を開催します。

開催にあたり、各部署から若手職員が集い、企画室

を立ち上げ、内容を検討しています。

「初めての試みであり、試行錯誤の連続ですが、病院を想う強い気持ちと来ていただく皆さんとの出会いを楽しみに準備を進めています」と若手職員は熱く語っていました。

多彩な企画盛りだくさん

当日は、メタボリックシンドローム診断や血管年齢チェック、骨密度測定、救急体験としてAED講習、介護予防の運動指導等を行います。

また、日頃は入ることのできない手術室や検査室、画像診断室等を巡る院内探検隊も企画されています。さらに、日頃あまり感じることのない自然放射線の測定も行う予定です。

地域医療を支える市立病院を楽しみながら知る内容が出来る内容となっています。